

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	急性心筋梗塞後におけるカルベジロールが左室駆出率に与える影響の検討
研究責任者	齋藤 晶仁
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	カルベジロール錠は主に心筋梗塞などの虚血性心疾患に基づく慢性心不全、高血圧症などで使用される薬剤です。その用量は患者さんの身体状況によって異なり、個々で異なっています。心不全の評価の一つに、左室駆出率(EF:ejection fraction)がありますが、この数値は心臓が一回の拍動でどれだけの血液を送り出せるかを表しています。この研究では急性心筋梗塞を発症し、初期治療としてカテーテル手術(経皮的冠動脈インターベンション)を受け、カルベジロール錠を処方された患者さんにおけるEF変化を観察致します。また、EFに影響を与える要因の検討を行うとともに、カルベジロールの用量を決定する上で重要と思われる、血圧、脈拍などの因子を検討し、用量決定、長期にわたる治療における安全性向上を計ることのできるような指標を探索します。
研究方法	2014年1月から2017年12月までの期間に経過観察のカテーテル検査入院をした患者さんのうち、初回入院が心筋梗塞でかつカルベジロール錠を導入された方と導入されなかった方を対象とした後ろ向き調査を行います。 カルベジロールの最終用量及びカテーテル手術後から経過観察カテーテル検査までの期間におけるEF変化について解析します。また、EF変化に影響を与える因子として、年齢、BMI、性別、糖尿病・高血圧症・高尿酸血症・脂質異常症の既往などについてカルテよりデータを抽出し、解析いたします。 個人情報保護の観点より十分配慮を行ったうえで解析を行います。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方はご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 薬剤部 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 齋藤 晶仁 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604